

使っている花 ■ ワレモコウ(モンゴル)、パニカム、セルリア(ブラッシングブライドホワイト)

9月  
September

WEEKEND  
FLOWER

## ワレモコウ

花言葉 変化/もの思い/愛慕

虫の音が心地よいウィークエンドの朝  
窓辺に秋をたっぷりと飾って

### プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 花、葉の痛みの少ないもの、花がポロポロ散らないものを選びましょう。
- 切り戻しをして、たっぷりの水(深水)にいけましょう。
- 水下がりを防止するために、切り花栄養剤を使用するとよいです。

### お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ①ワレモコウの涼しげな草姿をいかして、長いまま飾ってみましょう。秋の雰囲気さをさらに醸してくれる穂もの(グラス類)から今回はパニカムをあわせませます。
- ②ワレモコウとパニカムを手元でさっと束ねて、そのままふわっと花器にいけましょう。秋風にそよそよとなびくような雰囲気になれば成功です!
- ③少し空間に華やぎをプラスしたい場合は、花器をもうひとつ並べて花をプラスします。ワレモコウをいけた器の口元の高さくらいに花があるとバランスがよいでしょう。和風の花も素敵ですが、優しい雰囲気セルリアもよく合います。

### 野趣あふれる美しい草姿

日本の野山に自生する山野草「吾亦紅」、源氏物語にも登場します。赤褐色の穂のような花は秋風に揺れる素朴な雰囲気でお月見はじめ秋らしい演出に欠かせないアイテム。近年はドライフラワーの素材としても。産地毎のオリジナル品種も多数、ピロード調の色鮮やかな品種群が人気です。露地栽培で美しい品質を保つには大変な苦勞があるそう。

*Great Burnet*

